

平成 22 年 10 月度関西ゴルフ連盟月例競技会

期 日 平成 22 年 10 月 5 日

場 所 鳴尾ゴルフ倶楽部

関西ゴルフ連盟

競 技 の 条 件

1. ゴルフ規則
日本ゴルフ協会ゴルフ規則とこの競技のローカルルールを適用する。
2. 使用クラブおよび使用球の規格
 - a. 『適合ドライバーヘッドリストの条件・ゴルフ規則付 I (c)1a』を適用する（ゴルフ規則 184 頁参照）。
 - b. 『公認球リストの条件・ゴルフ規則付 I (c)1b』を適用する（ゴルフ規則 186 頁参照）。
3. スタート時間
『ゴルフ規則付 I (c)2』を適用する（ゴルフ規則 187 頁参照）。
4. 競技終了時点
本競技は、競技委員長の成績発表がなされた時点をもって終了したものとみなす。
5. ホールとホールの間での練習禁止
『ゴルフ規則付 I (c)6b』を適用する（ゴルフ規則 190 頁参照）。
6. プレーの中断と再開
 - (1) プレーの中断（落雷などの危険を伴わない気象状況）については、ゴルフ規則 6-8b、c、d に従って処置すること。
 - (2) 険悪な気象状態にあるため、委員会の決定によりプレーが中断となった場合、同じ組の競技者全員がホールとホールの間をいたときは、各競技者は委員会よりプレー再開の指示が出るまでプレーを再開してはならない。1 ホールのプレーの途中であった時は、各競技者はすぐにプレーを中断しなければならず、その後、委員会よりプレー再開の指示が出るまで、プレーを再開してはならない。競技者がすぐにプレーを中断しなかった時は、ゴルフ規則 33-7 に決められているような、罰を免除する正当な事情がなければ、その競技者は競技失格とする。
この条件の違反の罰は競技失格（ゴルフ規則 6-8 b 注）
 - (3) プレーの中断と再開の合図について
通常のプレー中断：短いサイレンを繰り返して通報する。
険悪な気象状況による即時中断：1 回の長いサイレンを鳴らして通報する。
プレーの再開：1 回の長いサイレンを鳴らして通報する。
7. 移 動
正規のラウンド中の移動について、『ゴルフ規則付 I (c)9 移動』を適用する（ゴルフ規則 192 頁参照）。
8. キャディー
正規のラウンド中、競技者が委員会によって指定された者以外をキャディーとして使用することを禁止する。この条件の違反の罰は『ゴルフ規則付 I (c)3』を適用する（ゴルフ規則 188 頁参照）。
9. プレーの進行
プレーの進行に留意し、先行組との間隔を不当にあけないよう注意のこと。
 - ①前半 9 ホールのプレー所要時間が 2 時間 30 分以上
 - ②且つ、先行組より 15 分以上遅れた場合上記の違反は、その組全員に 1 打罰とする。ただし、委員会が特別に認めた場合は除く。
10. 使用ティーマーカー
使用ティーマーカーはアオとする。

ローカルルール

1. アウトオブバウンズの境界は白杭をもって標示する。
2. 修理地は青杭または白線をもってその限界を標示する。
3. ウォーターハザードは黄杭、ラテラル・ウォーターハザードは赤杭をもってその限界を標示する。
4. 排水溝は動かさない障害物とする。
5. 電磁誘導カートの2本の人工の表面を持つ軌道は、全幅をもってカート道路とみなす。
6. クローズド（Closed）の標示のある予備グリーンは、プレー禁止の修理地（スルーザグリーン）とし、その上に球があつたりスタンスがかかる場合、競技者はゴルフ規則 25-1b(i)の救済を受けなければならない。このローカルルールの違反の罰は2打。
7. 樹木の巻物施設はコースと不可分の部分とする。

注 意 事 項

1. 競技の条件やローカルルールに追加、変更のある時は、スターティングホールのティーインググラウンド付近に掲示して告示する。
2. グリーンに著しく損傷を与えるシューズは使用禁止とすることがある。(金属鋌付きスパイクシューズの使用はご遠慮下さい)
3. 打球練習場での使用クラブは飛距離 230 ヤード以下のものに限る。
4. スタート時間 5 分前には、必ずティーインググラウンド周辺に待機すること。
5. プレーの進行に留意し、先行組との間隔を不当にあけないよう注意すること。プレーの不当な遅延は、ゴルフ規則 6-7 により罰せられる。

競技委員長 野村 惇